

## 広報写真 2024 年の思い出

2024 年は皆さんにとってどんな 1 年でしたでしょうか。本市では、若者を中心とした地域の未来を考える活動や、ながさきピース文化祭 2025 に向けた動きが始まるなど、未来に向けた取り組みが進み始める 1 年となりました。ここでは、市の広報写真を通して 2024 年の思い出を振り返ります。



- 1 1月27日、今回で幕を閉じた「第70回 郡市対抗県下一周駅伝」。佐世保市役所前スタートの様子
- 2 2月21日、断水が続く能登半島地震の被災地で、給水支援に当たるため、市職員を派遣
- 3 3月31日、新年度に向け開催された「SASEBO 未来デザイン会議 Returns × SASEBO 99 Talk M Café」
- 4 4月13日、米海軍佐世保基地が10年ぶりに一般開放された「Sasebo Fleet Friendship Day」
- 5 4月27日、プロバスケットボールクラブ「長崎ヴェルカ」とマザータウン協定を締結
- 6 6月1日、クルーズ船の浦頭ターミナル初寄港を記念し開催された「クルーズフェスティバル in 浦頭」
- 7 8月1日、11年ぶりに開催された北部九州総体「ありがとうを強さに変えて 北部九州総体 2024」
- 8 9月1日、例年の防災訓練に加え、防災展示や車両展示が増設された「佐世保市総合防災訓練」
- 9 10月13日、ながさきピース文化祭2025プレイベントの一つ「SASEBO ストリートカルチャーフェスティバル」
- 10 10月26日、JR佐世保駅みなと口前広場にツリーのイルミネーションが登場
- 11 10月26日に開催された「西九州自動車道ハイウェイウォーキングイベント」
- 12 11月10日、7年ぶりに開催された「佐世保造船所工場見学会」

## 宮中献穀事業 全日程を終了しました

宮中行事である新嘗祭に、日本全国から宮中へ新米を献上する行事「宮中献穀事業」。令和6年度は本市で42年ぶりに実施することとなり、11月28日(木)の県庁への贈呈をもって無事終了しました。ここでは、播種から奉納まで7カ月の流れを振り返ります。



- 1 5月7日、斎田のお清め・おはらいなどをする「斎田清祓」
- 2 5月7日、「斎田清祓」と併せて行った、稲の種をまく「播種祭」
- 3 6月7日、「播種祭」でまいた種から成長した稲の苗
- 4 6月7日、早乙女の伝統衣装を着た柚木小学校6年生が、五穀豊穡を祈りながら田植えを行う儀式「御田植祭」
- 5 8月2日、水不足や台風等による風水害を避け、病害虫の被害から稲を守り、豊かな実りとなるよう祈願する「青田祭」
- 6 10月1日、収穫への感謝を行った後、刈男の伝統衣装を着た柚木小学校6年生が稲穂を刈り取る儀式「抜穂祭」
- 7 10月1日、大きく実って黄金色に輝く稲穂
- 8 10月1日、「抜穂祭」に参加した奉納者など関係者集合写真
- 9 10月10日、割れ・濁りのある米を取り除き、献穀米を一粒一粒選別する「選別式」
- 10 10月28日、奉納者の松永さんご夫婦と市長などが、皇居へ米を献納
- 11 11月28日、県知事へ贈呈した記念米(約1.5kg)
- 12 11月28日、宮中献穀の報告と記念米贈呈のため、県庁を訪問

農政課 ☎ 24-1111